

資産運用の読み物

経済・投資のあんちよこ



VOL.17

2016年の国内外の主要イベントは？

今回の話題

新しい年が始まりました。2016年の干支は、申(さる)年です。申年は、相場の格言で「騒ぐ」年と言われています。戦後4回あった申年では、1992年のバブル崩壊以外はすべて日本株が上昇しました。今年はいったいどんな年になるのか、予定されている国内外の主なイベントを整理しましょう。

オリンピック、選挙と大型イベントが多数

- 2016年のイベントとして、最初に思い浮かぶのが南米で初めて開催されるリオデジャネイロオリンピックでしょう。低迷気味のブラジル経済に良い影響を与えられるかどうか、注目されます。
- 4年に一度のイベントという意味では、米国の大統領選挙が控えています。米国は世界経済に大きな影響を与える国ですから、目が離せません。台湾やフィリピンでも選挙が予定されています。
- 一方日本では、既存のルールが変わる出来事が実施される予定です。ひとつがNISAの投資限度額の変更です。現状の100万円から120万円に引き上げられ、より投資家に有利となります。
- また選挙権が満18歳以上となり、7月の参議院議員選挙から施行されます。電力小売も完全自由化され、消費者が電力会社を選んで契約する時代が始まります。5月には伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)の開催が予定されており、経済効果が期待できるかもしれません。

2016年の主なイベント

1月	日本	マイナンバー制度運用開始 NISA上限額引上げ ジュニアNISA受付開始
	世界	台湾(中華民国)総統選挙
4月	日本	電力小売完全自由化
5月	日本	伊勢志摩サミット開催
	世界	フィリピン大統領選挙
7月	日本	参議院議員選挙(満18歳への選挙権年齢の引き下げ後初)
8月	世界	リオデジャネイロオリンピック開催(ブラジル)
11月	世界	米国大統領選挙

Point

世界的にはオリンピックや米国大統領選挙、国内は、NISAの上限額変更や電力完全自由化、サミットの開催に注目です。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。